

第1学年 地域創造学学習指導案

日 時 令和元年11月29日(金) □校時

場 所 1年A組教室

学 級 第1学年 男7名 女11名 計18名

授業者 杉下遼、黄川田潤一、高木浩二

1 単元名 追跡輝け住田追跡プロジェクト②「プロジェクトに取り組んでみて…」

2 単元について

大単元「輝け住田追跡プロジェクト」^{*1}のねらいは、住田町で活躍する人や企業を取材し、取材した人・企業の願いや工夫に触れる活動を通して、生徒の地域社会に対する見方・考え方を広げたり、地域社会に対する社会参画意識を高めたりすることである。本単元「プロジェクトに取り組んでみて…」は、大単元の最終単元にあたる。

そこで本単元では、活動のまとめ^{*2}や振り返り^{*3}を通して、「住田町で活躍している人は、〇〇といった願いを持っている」といった考えを深めたり、「自分達が思っている以上に、住田町には他の地域には無い良さがあるかもしれない」といった気持ちを高めたりすることをねらいに置きたい。以下、「題材」「生徒の実態」「指導にあたって」の特徴について紹介する。

(1) 題材について

大単元「輝け住田追跡プロジェクト」で取り扱う題材は、住田町で活躍する人・企業である。

生徒達は、これまでの活動を通して、「これまで育ててくれた住田町に、自分のできることで恩返しをしたい」「住田町の自然の素晴らしさを各地の人に知って欲しい」「自分達の仕事が町の人の元気に繋がれば嬉しい」といった、町に関わる人たちの願いに触れてきた。住田町で活躍する人・企業への取材は、第一ステージから第三ステージ前半期まで学んできた「住田町は、種山ヶ原や気仙川に代表されるように豊かな自然に恵まれている」といった町の魅力(自然)に加えて、「住田町には、地域の良さをいかしながら活躍する人や企業がある」といった町の魅力(人・企業)についてより深く考える機会になったといえる。

本単元は、各グループで得てきた住田町で活躍する人・企業に関する気づきや考えをポスターにまとめ、生徒や地域の方に報告する活動を予定している。活動を通して、生徒達は、「気仙ロックフェスは、〇〇〇といった願いがこめられている」「住田フーズは〇〇〇といった思いをこめて商品を生産している」といった住田で活躍する人・企業の願いなどを聞き手と共有したり、「住田町には、熱い思いを持って活動している人や企業がいる。自分達にも何か出来ることはないだろうか…?」といった地域社会への参画意識を高めたりする機会になるといえよう。

(2) 生徒について

大単元「輝け住田追跡プロジェクト」では、住田町で活躍する人や企業を取材し、取材した人・企業の願いや工夫に触れる活動を通して、生徒の地域社会に対する見方・考え方を広げたり、地域社会に対する社会参画意識を高めたりすることをねらいとしている。

年度当初、生徒達は、これまでの学習活動を通して町内で活躍する人・企業に関する情報を得てはきたものの、そこで働く人がどのような願いを持っているか分からない傾向にあった。しかし、町内で活躍する人・

企業へ取材を行ったり、取材した内容をパンフレットにまとめたりする活動を通して、「住田町を自分のことで盛り上げたい」「たくさんの人に住田町のすばらしさを知って欲しい」といった、町内で活躍する人・企業の願いに触れることができた。

本単元は、大単元「輝け住田追跡プロジェクト」の最終段階にあたるため、取材内容のまとめ等を通して、住田町に貢献するために活動している人や企業がいることに気づいたり、「自分達でも、町のためにできることがあるかもしれない…」といった生徒の地域社会に対する社会参画意識を高める機会にしたい。なお、本単元では、主な活動として、今年度の取り組みの様子や成果・課題を、生徒や地域住民に発表するプロジェクト報告会を予定している。その特徴を踏まえ、社会的実践力の中でも、「A 地域理解」「B 1 提案・発信する力」「C 1 伝え合う力」「D 3 自己肯定感」といった資質・能力を高められるよう、支援を講じていきたい。

(3) 指導にあたって

学習材の特徴と生徒の実態を踏まえ、「A 1 地域理解」「B 3 提案・発信する力」「C 1 伝え合う力」「D 3 自己肯定感」といった資質・能力の育成に迫るために、それぞれの段階において、以下に示す活動を計画している。

単元の導入部では、単元についての見通しを持つ活動を取り入れる。具体的には、①大単元のテーマ「地域で活躍している人の姿や願いを発信しよう！」を確認する。②報告会のねらいと流れについて共有する。③活動を通して改めて気づいた住田町で活躍する人や企業の願いを報告に取り入れることを確認する、といった活動を取り入れたい。

単元の展開部では、プロジェクト報告会に取り組む。報告会では、活動のねらいを共有したり振り返ったりする活動を取り入れる。具体的には、①発表の際に大単元のテーマを確認し、グループの気付き・考えを深めるために、話し手と聞き手が重視したいことの共有を図る。②報告会を通して気づいたこと等を振り返る、といった活動を取り入れたい。

単元のまとめでは、報告会や一年間の活動を振り返る活動を取り入れる。具体的には、①報告会での質疑を通して気づいたことを振り返る、②一年間の住田の魅力発信する活動を通して自身の成長した力や今後に活かしたいことについて振り返る、③活動を通して新たに・改めて気づいた住田の魅力について振り返る、といった活動を取り入れたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

育成した資質・能力		資質・能力別の目標
社会的実践力	A 【地域理解】	○報告会に向けて、活動を通して改めて気づいた住田町で活躍する人・企業の願いについて、まとめることができる。
	B 【社会参画に関する資質能力】	○報告会にて、自身のグループの成果物を示したり、成果・課題について要点をまとめて発表したりすることができる。
	C 【人間関係形成に関する資質能力】	○報告会に向けて、聞き手に住田町で活躍する人・企業の願いが伝わるように、発表原稿やポスターの内容について意見交換することができる。
	D 【自律的活動に関する資質能力】	○振り返りの際に、自身の成長を実感したり、次年度に向けての意欲を高めたりすることができる。

(2) 評価規準

資質能力		評価規準	
A ◎地域理解		【◎地】	◆報告会に向けて、活動を通して改めて気づいた住田町で活躍する人・企業の願いについて、まとめようとしている。
B 社会参画に関する資質能力	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	◆報告会にて、自身のグループの成果物を示したり、成果・課題について要点をまとめて発表しようとしたりしている。
	C 人間関係形成に関わる資質能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】
D 自律的活動に関する資質能力	3 ★自己肯定感	【★肯】	◆振り返りの際に、自身の成長を実感したり、次年度に向けての意欲を高めようとしたりしている。

4 単元の指導・評価計画 (本時 第2時/全7時間)

月	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
1 1	課題への気づき・課題の設定	1/7	・プロジェクト報告会に向けて、見通しを持ちながら、これまで行ってきた活動をまとめる。	【国語 B 書くこと】【道徳 自然愛護】	・A ◎地域理解 ・C 1 ☆伝え合う力 (チェックリスト)
	現状把握・情報収集	2 3 (2/7 本時)	・プロジェクト報告会に向けた準備をする。		

1 2	実施・改善	4 5 6	・プロジェクト報告会でこれまでの活動について発表する。	【国語 A 話すこと・聞くこと】 【道徳 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【道徳 相互理解】	・A ◎地域理解 ・B3 ☆提案・発信する力 (ルーブリック)
	まとめと振り返り	7	・プロジェクト報告会の振り返りをする。	【国語 B 書くこと】	・D3 ★自己肯定感 (振り返り)

5 本時の指導

(1) 目標

- ・報告会に向けて、聞き手に「地域の人・企業の思いや願い」が伝わるように、発表原稿やポスターの内容について意見交換をすることができる。【A ◎地域理解】【C1 人間関係形成に関わる資質能力 ☆伝え合う力】

○本時のチェックリスト

みとる資質能力	項目	支援の手立て
・A ◎地域理解 ・C1 人間関係形成に関わる資質能力 ☆伝え合う力	・発表原稿に、住田町で活躍する人・企業の願いについて記述されているか確認しあうことができた。	・発表原稿に盛り込む内容について全体で共有する。
	・発表原稿、ポスター、リーフレットの内容との整合性が取れているか確認することができた。	・具体例を示し、全体で共有する。

(3) 展開

階	学習内容・学習活動	・指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<p>1 大単元のテーマの確認 テーマ「地域で活躍している人の姿や願いを発信しよう！」を示し、大単元の目的について確認する。</p> <p>2 「学習課題」の設定 前時の活動を踏まえて、「学習課題」を、生徒が提案する。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 学習課題 報告会に向けた準備をしよう！ </div>	<p>・「住田町で活躍する人・企業の願い」に重点を置いていることを、改めて教員と生徒で確認する。</p> <p>・事前に振り返りシートを返却し、「学習課題」についての見通しを抱かせる。</p>
展開 35分	<p>3 活動の見通しの共有 報告会の発表原稿とポスターに盛り込む内容を生徒と確認する。</p> <p>4 発表原稿とポスターの作成 グループで意見交換しながら、報告会の発表原稿とポスターを作成する。</p>	<p>・「これまでの活動の流れ」「活動の成果・課題」「リーフレットの見どころ」などを発表原稿に盛り込むことを確認させる。</p> <p>◆発表原稿に、住田町で活躍する人・企業の願いについて記述されているか確認しあうことができた。【☆伝】</p> <p>◆発表原稿、ポスター、リーフレットの内容との整合性が取れているか確認することができた。【☆伝】</p>
まとめ 10分	<p>5 振り返り 振り返りシートを記入する。</p> <p>6 次時の学習の確認 振り返りの内容を踏まえ、次時に取り組みたいことを提案する。</p>	<p>・本時に取り組んだ内容を踏まえ、振り返りシートの「今日の活動」「成果」「課題」「続けたいこと」「改善したいこと」「次回取り組みたいこと」「その他」等を記入するように促す。</p>

【註】

- ※1 「輝け住田追跡プロジェクト」…住田町立世田米中学校の第一学年の地域創造学にて、重点的に取り組んでいる学習活動。
大単元は全36時間で、「オリエンテーション（1時間）」、「調査活動①（6時間）」、「計画立案（10時間）」、「調査活動②（12時間）」、「まとめと振り返り（7時間）」からなる。
- ※3 まとめ…プロジェクトの経過や、成果・課題を、書面にまとめたり口頭で報告したりすること。
- ※4 振り返り…プロジェクトを通して、町に対する気持ちや、自身の成長について気づいたこと・考えたことなどを、書面に記したり、口頭で発表したりすること。